

メロックスMOX燃料工場へのエンジニアの派遣

【はじめに】

当社は2023年4月から、MOX燃料工場として世界で唯一商業運転している、メロックス工場に、将来の当社MOX燃料工場の要となるエンジニア2名を派遣しています。

【メロックスMOX燃料工場へのエンジニアの派遣】

MOX燃料工場は、プルトニウムを取り扱うこと、ウランとプルトニウムという2つの物質を混ぜて燃料を製造することから、ウラン燃料工場とは異なる生産管理や品質管理の技術が求められます。

こうした、MOX燃料工場独自の管理方法に精通し、工程全体を俯瞰した指示・判断ができる人材を育成するため、実際に稼働しているメロックスに派遣することとしました。



メロックスで学んでいる主な内容

- ・生産計画の策定、進捗管理、生産計画の修正方法
- ・製造条件の変化に伴う燃料ペレットの品質への影響
- ・燃料ペレットの品質異常発生時の原因究明、解決方法 等



制御室で現場への粉末調整の指示の出し方を確認している様子



現場でペレット焼結炉の稼働状況を確認している様子

派遣した社員からの報告



各工程の安全を最優先に、安定して燃料を製造するため、プルトニウムの在庫量や設備の稼働状況などの情報を踏まえて、日々の生産管理を行うノウハウを学んでいます。

【燃料製造計画部 運転準備グループ】
佐藤 隆彦 (サトウ タカヒコ)



品質の高い燃料を製造する条件を決定し、各工程でその製造条件を逸脱しないよう適切に管理するための勘所を学んでいます。

【燃料製造計画部 運転準備グループ】
吉田 綾一 (ヨシダ リョウイチ)

引き続き、MOX燃料工場の安全・安定操業に向け、技術力の維持・向上を図ってまいります。